



くはじめに>

安全にご使用いただくために、必ずお読み下さい。

この度は、点字プリンタTP-32をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

TP-32は、能率よく静かに点字文書を印字する点字プリンタです。

本機をお使いになる際には、次の点にご注意下さい。

- ●本書は、本機の取扱方法や操作方法など、基本的な事柄を説明しています。本機をご利用になる前には、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、本機を十分にご活用下さい。
- ●本機は、日本国内用に設計されています。電圧の異なる海外では使用できません。
- ●万一本機にトラブルが生じた場合には、「こんなときには」を参照して対処して下さい。 それでもなおトラブルが解消でぎない場合には、機械内部には決して手を触れずに、必ず 電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、弊社または販売店までご連絡下 さい。
 - ●本機の分解や改造は絶対に行わないで下さい。思わぬ事故や故障の原因となります。 お客様が無断で分解・改造を行った製品は、保証期間中であっても無償修理を行えなくなったり、修理自体が行えなくなる可能性がありますので、おやめ下さい。
 - ●本書中の「注意」には、本機を安全にお使いいただくため絶対に行ってはならないことや、 必ずお守りいただきたいこと等、重要な情報が記述されています。本機の取扱および操作の際には、「注意」文をよくお読み下さい。
 - ●本書は、本機の使用中にいつでも参照できるよう、いつも手近に置いて有効にご活用下さい。

くご注意>

- ◆本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断り致します。
- ◆本書の内容については、改良・修正のため、予告なく変更することがあります。
- ◆本機の使用方法および本書の内容に関して、理解できない箇所や記述の誤り、記載漏れ等お気付きの点がございましたら、弊社または販売店までご連絡下さい。



1

1.	各名	形の名称と	はたら	き・・・・・			• • • • • • • • • • • • • •		••••4
	1)	各部の	名	称					
	2)	各部のは	たら	き・・・・				• • • • • • • • • • • • • • • • • •	••••6
		①フィ	- 5	t —					
		(2) u y /	ァレ・	バー		2000-18 20 28 21 20			
		③ペーパ	一挿	አ በ					
		のペーパー	送りハン	ンドル	*				
		の重 源 ス	x 1	ッチ					
			面出しス	イッチ					
		の印字 設	定スイ	ッチ					
		のペーパー	加 さ え い	レバー	1				
	•	@ ペーパ	一推	жо	2 - 2 °				
		偷通信 設	デ ス イ		la.				
				* <u>z</u>	· _ · · · · · ·				
			~ ~	- K					
				*					
			ルボ	- h					
			ル ポ	- h					
っ	弘	受のし	, 70 A.	t .					•••7
2.	ax 1)		· ~ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	た 音 (鉛音	まにあたって)				
	1)	収扱エッ	~ <u>~</u>						
	2)	₩ ₩ ₩	78	日本					
	3)	政 峰	キのビ注	究 音					
~	4)	伊動りつこの		办 能					8
3.		1 9 7 50 7 10 7	7 4	#C 4					9
	IJ	印ナ政に	~ ~ <i>y</i>	, 4					
		(リュート 法)	ネスイン	, 千			а		
		しょく 対応な の行業的分		∕ ∓					••10
			、 イ ノ イ ノ イ ノ イ ノ イ ノ	71.01=	£				
-	 0 \	④印于述及9 还 后 奶 宁	カリ 合ん ス イ い	イッ ク	·				••11
	2)	四 旧 取 化	ハイン		ŝ.				
		①通信形式	レモノイ	シノ					
			-	, 					12
4.	, ,,	য় আন ফর ৾ ধ্য		a±.			5	е 14	
	1)		. ^ 	啊					
	2) 2)	用机飞	ר עי אמו	শ্য কা		. [*]			
	3)	用机	3 90	40 a±					
	4)	吳 ?	5	मन्					

.

.

5 按	纏 の し か た・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1)	取扱 トのご注音(接続にあたって)
2)	気 返 上 り こ こ ふ (反称にのたうで)
2)	
37	
4)	
<u>е.</u> ы]4 E E L A Y X X
1)	
2)	
	①用紙のセット
	②各スイッチのセット
	③電源スイッチのセット
	④用紙の頭出し
3)	印字の実行
	①表 面 の 印 字
	②停止/中止する
	③用紙のカット
	④裏面を印字する場合
7.保	守16
1)	日頃のお手入れ(外装)
2)	保 守 サ ー ビ ス
8.こ	んなときには
1)	電源が入らない
2)	電源スイッチを入れると、アラームが鳴りっぱなしになる
3)	ホストからデータを送り印字を行おうとすると、アラームが鳴りっぱなしになる
4)	何 も 印 字 し な い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
5)	意味不明の文字や図形が印字される
6)	点抜け、多印字が出る
9.付	録
1)	制 御 コ ー ド
	①改行
· ··· ·	
	③フローコントロール XON/XOFF
	④行 数 設 定······20
	⑤コード選択・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	⑥印字終了コード
2)	付 属 品 一 覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3)	任 様
0,	
×.	
	- 3 -

1) 各部の名称



- 4 -



2) 谷部のはたらき

名称	はたらき
①フィーダー	ペーパーをセットするところです。 開いた状態で、ガイド穴にペーパーを合わせてセットし、閉じた状 態でペーパーを固定します。8インチ用紙は内側の仕切りに、10 インチ用紙は外側の仕切りに合わせて下さい。
②ロックレバー	フィーダーの位置を固定するときに使います。 レバーを上方向へ押し上げるとロックが解除され、フィーダーを左 右に動かせます。レバーを下方向へ戻すとロックされます。
③ペーパー挿入口	斜め上からペーパーを挿入します。
④ペーパー送りハンドル	印字前、フィーダーにセットしたペーパーを中へ送り込むときに使 います。印字後、ペーパーを外へ送り出すときに使います。
⑤電源スイッチ	「丨」側を押すと電源が入り、「〇」側を押すと電源が切れます。
。 ⑥ペーパー頭出しスイッチ	ペーパーの頭出しを行います。 表面の頭出しを行うときは「表」側を、裏面の頭出しを行うときは 「裏」側を押して下さい。
⑦印字設定スイッチ	印字をコントロールするスイッチです(3 章1 項参照)。 コード選択スイッチ、マス数設定スイッチ、行数設定スイッチ、 印字速度切り替えスイッチの4種類があります。
⑧ペーパー押さえレバー	印字したペーパーをカットするときに、ペーパーを押さえます。
③ベーパー排出口	印字終了されたペーパーが排出されます。
⑩通信設定スイッチ	シリアルポートでの通信をコントロールするスイッチです。 (3 章 2 項参照)。 通信形式スイッチとボーレートスイッチの 2 種類があります。
- ①ア ー ス 端 子	接地用端子です。
②電 源 コ ー ド	AC100Vに接続します。
(1)ビューズ	AC125V 3Aを使用しています。
Qパラレルポート Dシリアルポート	パソコンと接続するときに使います。 ⑭と⑮の入力の切り替えは、自動で行います。

- 1) 取扱上のご注意(設置にあたって)
 - 次のような場所に置きますと、故障・誤動作の原因となりますので、避けて下さい。 ◆ 直射日光の当たる場所、冷暖房機の近くや屋外。
 - ◆水道や加湿器の近くなど湿気の多い場所、水・油・薬品等がかかる恐れのある場所。
 - ◆閉け放した窓の近くなどゴミやホコリの多い場所、鉄粉や有害ガスの発生する場所。
 - ◆電源コードに足が引っかかる場所。
 - また、テレビ・ラジオ・スピーカー・無線機等、磁気・電波を発生するものの近くには設置 しないで下さい。これらに近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。

2) 設置スペース

- 本機は、次のような場所に設置して下さい。
 - 〇水平でしっかりした場所に設置して下さい。傾いていると、正常に印字できなくなり、 思わぬ事故や故障の原因になります。
 - 〇内部の熱が排出されるよう、周囲に10m以上の隙間を空けて下さい。
 - ○電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、電源コンセントに直接しっかりと接続して下さい。
- 3) 設置環境

〇温度5~35℃

○湿度20~80%(非結露)

4)移動するときのご注意

〇本機は、構造上かなりの重量を有します。女性やお子様が1人で持ち運ぶことはお避け 下さい。

○電源を切り、電源コードを抜いてから、本機を移動して下さい。 ○電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いて下さい。 ○移動する際に激しく揺らしたり震動させたりすると、故障の原因になります。

- 1 -



※すべての設定スイッチは、必ず電源スイッチを入れる前にセットして下さい。 電源スイッチを入れた後は、変更できません。

1)印字設定スイッチ



①コード選択スイッチ

左から右へ圖、圖, 圖・・・・①の順に切り替わります。選択したいコードに合わせて下さい。 a.J I S (6点)

b.日本点字表記法(6点) c.N A B C C (6点)

d.N A B C C (8点)

e.E B C C (6点)

f.グラフィック:NABCC8点を行間2.2㎜にて、

8×10インチ用紙のときは25行、

10×11インチ用紙のときは28行を印字します。

g.以降:空き

②マス数設定スイッチ

OFF (几) : 1 行あたり 3 2 マスに設定します。 O N (れ) : 1 行あたり 3 0 マスに設定します。

- 9 -

奥から⑧、⑲、⑥、ⓓの順に並んでいます。選択したい行数をONにして下さい。

- a.O N:20行(行間6.6mm)
- b.O N:22行
- c.O N:24行(8×10インチ用紙では、使用できません)
- d.O N:両面印字または8点文字印字のとき、

8×10インチ用紙のときは、表面に18行・裏面に17行

10×11インチ用紙のときは、表面に19行・裏面に18行

の印字をそれぞれ行います。

⑧~②のうち1つも選択されていない場合、または2つ以上選択されている場合には、設
定異常のアラームが鳴ります。

※印字中、②と③のすべてのスイッチを同時にONにすると、プリンタバッファの内容が クリアされます(電源スイッチを切らずに、印字を中止することができます)。

④印字速度切り替えスイッチ

OFF(几):1頁あたり25秒で印字します。

O N (ハ): 1頁あたり35秒で印字します。

2) 通信設定スイッチ



通信設定スイッチのセット(シリアル RS-232C) 接続速度(150~9600)

÷

£ 2.

1

① スイッチ1

OFF		8 データ・ビット
ON	Ŷ.	7 データ・ビット

② スイッチ2

OFF	1ストップ・	ピット
ON	2ストップ・	ピット

3

10.00

スイッチ3	スイッチ4	パリティチェック
OFF	OFF	同等なし
OFF	ON	偶数
ON	OFF	奇数

④ スイッチ5

ON Xon/2	loff	あり

· · · · · ·

⑤ スイッチ6

フリー

1) 電源投入時

状況	鳴り方
電源立ち上げ	ピーツ

2) 用紙セット時

状况	鳴り方
表面頭出し終了	ピッピッ
裏面頭出し終了	ピーピッ

.

3) 用紙切れ

	状	況		鳴り方
頭	出	し	時	ピッピッピッ
۴Ŋ	7	2	中	ピッピッピッ

4) 異常時

状况	鳴り方	原因と対処方法
電源投入時	۲	設定異常。 電源スイッチを切り、印字設定スイッ チのセットを確認して下さい。
パソコンからデータを送信時	ピーーー	通信異常。 電源スイッチを切り、通信設定スイッ チのセットを確認して下さい。

- 12 -

5. 接続のしかた

- 1) 取扱上のご注意(接続にあたって)
 - ◆各機器の取扱説明書をよく読んでから接続して下さい。
 - ◆すべての接続は、プリンタ本体とホスト側(パソコン等)の電源スイッチが切れている ことを、必ず確認してから行って下さい。
 - ◆アース線を接続する場合は、絶対にガス管には接続しないで下さい。火災やガス爆発の 原因となります。また、水道管にも接続しないで下さい。他の電気機器が接続されてい ると、故障の原因になります。
- 2) 電源コードの差し込み

電源スイッチが切れていることを確認してから、AC100Vのコンセントに差し込みま す。

3) テスト印字

設置後、プリンタの動作や印字状態を、以下の手順で確認して下さい。

①用紙をセットします(6章「印字」を参照して下さい)。

②表面頭出しスイッチを押したまま、電源スイッチを入れます。

③アラームが「ピッピッピッ」と鳴るのを確認して下さい。

④表面頭出しスイッチを押して、表面の頭出しを行います。

⑤アラームが「ピッピッ」と鳴るのを確認して下さい。

⑥頭出しされた用紙に、用紙1枚分のテスト印字が行われ、カット位置まで出てきます。
⑦テスト印字は、用紙に平仮名の「く」の字を描くように行われています。

点抜けや多印字等がないか、よくチェックして下さい。

⑧テスト終了後は、電源スイッチを切って下さい。

⑨通常の印刷状態に戻すときには、一度電源スイッチを切ってから再び入れ直して下さい。

4) データ入力コネクタの接続

シリアルポート、パラレルポートのどちらかのコネクタへ通信ケーブルを接続します。

※シリアルポート入力とパラレルポート入力の切り替えは、自動で行います。

6. 印字

1) 取扱上のご注意

お取扱上、これを行うと、思わぬ事故や故障の原因となることを記載しています。 必ずお読みになり、お守り下さい。

◆濡れた手で各機器に触ったり、水などをかけないで下さい。

故障の原因となるだけでなく、感電の恐れもあり危険です。

◆落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。

◆本機の分解や改造は絶対に行わないで下さい。

◆電源コードを無理に曲げたり、上に重い物を乗せるなどコードに傷をつけないで下さい。

◆動作中は、絶対に内部に手を触れないで下さい。

◆やむを得ない場合以外は、動作中むやみに電源を切らないで下さい。

◆ペーパー送りハンドルは⟨₀必ず電源スイッチを切った状態で廻して下さい。

2) 印字準備

①用紙のセット

a.フィーダーのロックを解除します。

b.用紙サイズに合わせて、フィーダーをセットします。

8インチ幅:内側の仕切りにあたる位置でフィーダーをロックします。

10インチ幅:外側の仕切りにあたる位置でフィーダーをロックします。

c.フィーダーを開き、用紙をフィーダーのガイド穴に合わせます。

d.フィーダーを閉じます。

e.送りハンドルを手前に廻して、用紙を中へ送り込みます。

②各スイッチのセット

各設定スイッチは、電源スイッチを入れる前にセットして下さい。 電源スイッチを入れたあとは、変更は行えません。

③電源スイッチのセット

a.ホスト (パソコン等) 側の電源を入れます。

b.プリンタの電源スイッチを入れます。

c.アラームが「ピーッ」と鳴るのを確認して下さい。

④用紙の頭出し

a.表面頭出しスイッチを押して、表面の頭出しを行います。 b.アラームが「ピッピッ」と鳴るのを確認して下さい。 ①表面の印字

データが入力され次第、印字を行います。

②停止/中止する

- a. 印字中に「マス数設定スイッチ」と「行数設定スイッチ」をすべて同時にONにすると、 プリンタパッファの内容がクリアされるので、電源スイッチを切らずに印字を中止する ことができます。
- b. 印字中に電源を切ってしまったときは、もう一度電源スイッチを入れ、アラームが「ピーッ」と鳴ることを確認してから、印字を続けるか電源スイッチを切るかして下さい。 c. 電源を切るときは、プリンタ→ホスト側の順番で切って下さい。

③用紙のカット

- a. 印字終了後、約5秒間次のデータが入力されないときは、カット位置まで自動的に用紙 が出てきます。
- b. ペーパー押さえレバーを下へ押し付けながら、用紙を手前斜め上に引っ張ってカットして下さい。

④裏面を印字する場合(両面印字の場合)

a. 用紙をセットします。

b. 各スイッチをセットします。

このとき、行数設定スイッチは「両面と8点」に設定して下さい。

c.電源スイッチを入れます。

d.用紙の頭出しをして、表面を印字します。

e.表面の印字終了後、電源スイッチを切り、送りハンドルを奥側に廻して用紙を外します。

f. 用紙を1頁目から裏向きに挿入して下さい。

"g.電源スイッチを入れます。

h. 裏面頭出しスイッチを押し、裏面の頭出しを行います。

i.アラームが「ピーピッ」と鳴るのを確認して下さい。

j.データが入力され次第、印字を行います。

- 15 -

1) 日頃のお手入れ(外装)

①絶対にベンジン、アルコール、シンナー等で、本機を拭かないで下さい。
 ②汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってから拭き、その後乾いた
 柔らかい布で拭き取って下さい。

2) 保守サービス

 ①保証期間は、納入後1年間です。保証書は大切に保管して下さい。
 ②保証期間後も引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理の つど料金をいただく「実費保守サービス」を提供しております。

a.定額保守サービス:毎年決められた料金だけで、安心してご利用いただけます。 b.実費保守サービス:修理に要した費用をいただきます。 8.こんなときには

1) 電源が入らない

原因	処理
電源プラグが抜けている。	きちんとコンセントに差し込んで下さい。
電源スイッチが切れている。	電源スイッチを入れて下さい。
電源コンセントに電気がきていない。	他の電気器具をつないで、動作するか試して 下さい。
電源コンセントがパソコンと連動している。	パソコンの電源を入れて下さい。
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れる原因には、プリンタ本体の故 障と、高電圧につないでしまった等の外部から の要因によるものがあります。 状況をご確認の上、販売店または弊社までお問 い合わせ下さい。

2) 電源スイッチを入れると、アラームが鳴りっぱなしになる

原因	処理
印字設定スイッチが正しくセットされていない ①コード選択スイッチが選択されていない。 ②行数設定スイッチが1つも選択されてい ない。もしくは2つ以上選択されている。	印字設定スイッチが正しくセットされているか 確認して下さい。

3) ホストからデータを送り印字を行おうとすると、アラームが鳴りっぱなしになる

原因	処理
通信設定スイッチが、ホスト側の仕様通りに 設定されていない。	ホスト側の仕様に合わせて、通信設定を行って 下さい。
印字データが40頁以上である。	印字データが40頁以上の場合は、通信形式セ ットスイッチの❺をONにして下さい。

4)何も印字しない

		原	因	処理
頭	出し	を行っ	ていない。	頭出しを行って下さい。
通(言ケー	ブルが接続	されていない。	通信ケーブルを接続して下さい。
通	信ケ	ーブルの	D 接触不良。	通信ケーブルを接続しなおして下さい。

5) 意味不明の文字や図形が印字される

原因	処理
通信ケーブルの接触不良。	通信ケーブルを接続しなおして下さい。
コード選択スイッチの設定が間違っている。	J I S 、日本点字、NABCC(6 、 8 点) 、
コード 選 択 ス イ ッ チ が 「 空 き 」 に	EBCC、グラフィックのうち、ホスト側の設
セットされている。	定と同じコードに合わせて下さい。
(シリアルポート使用時)	ホスト側 (パソコン等) の通信設定を確認して
通信設定スイッチの選択が間違っている。	設定しなおして下さい。

6) 点抜け、多印字が出る

状 況	処理
テスト印字で点抜け・多印字が出る。 データを印字中、点抜け・多印字が出る。	プリンタが水平な場所に置かれているかチェッ クし、設置しなおして下さい。それでも直らな い場合には、販売店または弊社までご連絡下さ い。

1) 制御コード

①改行

CRLF (ODH, OAH)	プリントバッファの内容を印字し、1 行改行を行います。

②改頁

FF (0 C H)	改頁を行います。但し、プリントバッファにデータがあるときには それを印字したあとに、改頁を行います。 -
--------------	--

③フローコントロール XON/XOFF

ESC ESC S F (1BH 1BH 53H 46H)	フローコントロールを行います。 一度セットすると、電源スイッチを切る まで解除できません。
-------------------------------	---

④行数設定

ESC ESC P 0 (1BH 1BH 50H 30H)	30マス×20行の印字を行います。
ESC ESC P 1 (1BH 1BH 50H 31H)	32マス×20行の印字を行います。
ESC ESC P 2 (1BH 1BH 50H 32H)	30マス×22行の印字を行います。
ESC ESC P 3 (1BH 1BH 50H 33H)	32マス×22行の印字を行います。
ESC ESC P 4 (1BH 1BH 50H 34H)	30マス×24行の印字を行います。
ESC ESC P 5 (1BH 1BH 50H 35H)	3 2 マス× 2 4 行の印字を行います。
ESC ESC P 8 (1ВН 1ВН 50Н 38Н)	30マスで8点文字および両面の印字を 行うときに用います。
ESC ESC P 9 (1BH 1BH 50H 39H)	32マスで8点文字および両面の印字を 行うときに用います。 8×10インチ用紙のとき:表面18行 裏面17行 10×11インチ用紙のとき:表面19行 裏面18行
ESC ESC P A (1BH 1BH 50H 41H)	8×10インチ用紙のとき:30マス×25行 10×11インチ用紙のとき:30マス×28行
	8×10インチ用紙のとき:32マス×25行
ESC ESC P B (IBH IBH SON 421)	10×11インチ用紙のとき:32マス×28行

⑤コード選択

JISコード (6点)	ESC	ESC	U (1BH	1 B H	55H)
日本点字表記法(6点)	ESC	ESC∙	J (1BH	1 B H	4 A H)
NABCCコード(6 点)	ESC	ESC	N (1BH	1 B H	4 E H)
NABCCコード (8点)	ESC	ESC	О (1ВН	1 B H	4 F H),
EBCCコード (6点)	E S C	ESC	Е (1ВН	1 B H	45H)
グラフィック	ESC	ESC	ESC G	(1 B H	1 B H 4 7 H)

※グラフィック:NABCC8点文字を、行間2.2㎜で印字します。 8×10インチ用紙のとき32マス×25行 10×11インチ用紙のとき32マス×28行

⑥印字終了コード

ESC Z (1BH 5AH)	印字終了コードがプリンタへ入力された場合、プリンタは用紙の ミシン目をカッターまで自動的に送り出します。 印字を再会する場合は、頭出しを再度行って下さい。

2) 付属品一覧

①取扱説明書	(墨字)	1部
②取扱説明書	(点字)	1部

⑤保証登録書

1組

3) 仕様

	,	
	電 圧	AC100V +20%-10%
黿 源	周波数	50/60Hz
	消费電力	運転時 8 0 · V A
	シリアルポート	R S – 2 3 2 C
インターフェース	パラレルポート	セントロニクス準拠
入力コード		JIS (6点),日本点字表記法 (6点) NABCC (6点・8点),EBCC (6点)
	サイズ	8×10インチ または 10×11インチの連続紙
用 紙	厚 さ	90 kg ~ 1 10 kg
印字スピード		8×10インチ用紙1枚あたり (32マス×22行) 25秒
	片面印字	8×10インチ用紙:標準22行、最大25行 10×11インチ用紙:標準24行、最大28行
印字フォーマット	両面印字	8×10インチ用紙:表面18行、裏面17行 10×11インチ用紙:表面19行、裏面18行
外径	寸法	高さ2.8 cm×幅4.4 cm×奥行き4.1 cm
Ĩ	量	2 3 kg

紙詰まり時の取り除き方についての説明

①まず電源を切って下さい。

②もう一度電源を入れ手下さい。

③3秒程度待ったのち電源を切って下さい。

④つまった紙を静かに引き出して下さい。

⑤紙の切れ端がプリンター内に残った場合は、先の尖ったものもしくは、先で引っかけて取り出せそうなものを使って、紙挿入口あるいは出口から紙を取り出して下さい。

⑥見えない場所に残った場合は、紙挿入口から、点字用紙あるいは、厚めの用紙を差し込んで送り出して下さい。

⑦中に入って取り出せない場合はプリンターの外側をはずし取り除いて下さい。

・取り外し方





このセンサー部分に紙の切れ端が残っていたら取り外します。 (ピンセットのようなものでそっと取り除く)

センサーに紙が残っていると紙の頭出しを行うと正常な動作をしなくなります。 また、センサーが下がったままになってる場合がありますのでセンサーを上げてみて指で 触り上下に動く事を確認下さい。

以上が紙の取り出し方ですが作業を行うにあたっては、十分にご注意下さい。



株式会社 日本テレソフト TEL 03-3264-0800 FAX 03-3264-0880